

戸田奈津子が見てきたハリウッド

——スクリーンいっぱいに広がる夢の世界



コッポラ・ファミリー (左から)父カーマイン、フランシス・フォード・コッポラ、妻エレノア、娘ソフィア

かつて日本人の多くがハリウッドスターに憧れを募らせた時代がありました。映画字幕翻訳者、来日スターの通訳として知られる戸田奈津子氏もそのひとりでした。終戦後、映画好きな母親に連れられて入った映画館で大きな画面いっぱいに広がったその世界は、ひとりの少女を夢中にさせました。戸田さんのみならず、映画は当時多くの人に夢を与えました。時を経た現在でも私たちは『E.T.』といえば互いに指と指を合わせ、『タイタニック』といえば大きく両手を広げてみせることで夢を共有し、心を通わせることができます。

本企画展ではハリウッド映画の名作を紹介しながら、戸田さんがスクリーンを通して、あるいはスクリーンの向こう側で見てきた世界の一端に触れてみたいと思います。一度見たら忘れられないスターのあの表情、あのシーン、あのセリフ——の数々をご堪能ください。



戸田奈津子氏 プロフィール

昭和11年、東京生まれ。津田塾大学卒業後、生命保険会社の秘書を経て映画字幕翻訳者の清水俊二氏に師事。通訳や翻訳の仕事に携わる。フランシス・フォード・コッポラ監督の推薦で『地獄の黙示録』の翻訳を手がけたのを機に、映画字幕翻訳者として本格的に活動。これまでに1500本以上の作品を翻訳している。

企画展観覧料金 () 内は団体料金

一般200円(140円) 小・中学生100円(70円)

協力：戸田奈津子氏、根本隆一郎氏、柏原寛司氏、小野里徹氏、株式会社 双葉社、東京国立近代美術館フィルムセンター

映画鑑賞料金

一般 1,000円 小・中学生 500円

※映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。※販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

7月7日火 10:30~
14:00~/ 7月8日水 14:00~
7月9日木 14:00~

キュリー夫人



1943年/白黒/35mm/111分
監督:マーヴィン・ルロイ
原作:イブ・キュリー
出演:グリア・ガースン、ウォルター・ビジョン
ロバート・ウォーカー、マーガレット・オブライエン

女性物理学者キュリー夫人の半生と、夫婦愛を描いた伝記映画。日本では戦後、1946年2月にアメリカ映画輸入第一号として公開された。戸田さんも公開当時に見て、幼心にも感銘を覚えた1本。

チケット発売日(各月の発売日を色で表しています)※前月の第3土曜日から販売開始!

7月の上映作品 6月20日①

8月の上映作品 7月18日①

9月の上映作品 8月15日①

チケットのお取扱い店/記念館窓口・たらば書房・島森書店(鎌倉店)・上州屋(大船駅前)

7月10日金 10:30~
14:00~/ 7月11日土 10:30~
7月12日日 14:00~

華麗なる賭け



※11日14:00~
戸田奈津子さんトーク&サイン会あり

1968年/カラー/35mm/102分
監督:ノーマン・ジュイソフ
音楽:ミシェル・ルグラン
出演:スティーブ・マックィーン、
フェイ・ダナウエイ、ボール・パーク

分割画面を用いたスタイルッシュな映像に、アカデミー歌曲賞を受賞したルグラン作曲の主題曲「風のささやき」が、冒頭から主演のふたりを華麗に演出する。犯罪サスペンス&ラブロマンス。

7月20日月祝 10:30~
14:00~/ 7月22日水 14:00~
7月23日木 14:00~

情婦



1957年/白黒/35mm/117分
監督:ビリー・ワイルダー
原作:アガサ・クリスティ
出演:タイロン・パワー、
マーネー・ティートリッヒ、
チャールズ・ロートン

法廷ミステリーの金字塔。ディートリッヒらの名演とテンポの早い展開、老弁護士役の個性派チャールズ・ロートンと口うるさい付き添い看護師役エルザ・ランチエスター(実生活でも夫婦)のコンビも絶妙。

7月24日金 10:30~
14:00~/ 7月25日土 10:30~
14:00~/ 7月26日日 10:30~
14:00~

追想



1956年/カラー/35mm/105分
監督:アナトール・リトヴァク
音楽:アルフレッド・ニューマン
出演:ユル・ブリンナー、
イングリッド・バーグマン、ヘレン・ハイズ

ロシア革命の後、生存が尊されたロマノフ朝最後の皇后アナ斯塔シアにつまつわる恋と陰謀を描く。バーグマンは7年ぶりにハリウッド映画に復帰し、2度目のアカデミー賞主演女優賞に輝いた。

8月4日火 10:30~
14:00~/ 8月5日水 14:00~
8月6日木 14:00~

サンセット大通り



1950年/白黒/35mm/110分
監督:ビリー・ワイルダー
出演:クロリア・スワンソン、
ウィリアム・ホールデン、
エリック・フォン・シュトロハイム

ブルーに浮かぶ男の死体と彼のナレーションで幕を開けるこの物語は、サイレント時代の伝説的女優の妄執と悲劇を回想する。ワイルダーによる巧妙な配役で、ハリウッドの内幕を見事に活写した傑作。

8月7日金 10:30~
14:00~/ 8月8日土 10:30~
8月9日日 14:00~



※8日14:00~
戸田奈津子さんトーク&サイン会あり

1979年/カラー/35mm/105分
監督:ロバート・ベントン
撮影:ネストル・アルメンドロス
出演:ダスティン・ホフマン、
メリル・ストリープ、ジャステイン・ヘンリー

結婚8年目にして破局を迎える、仕事一筋だった父と幼い息子の生活が始まる。フレンチ・トーストと一緒に作り、次第に心を通わせていく父子の名演もさることながら、遠くで見つめる母の表情も印象深い。

8月18日火 10:00~
14:00~/ 8月19日水 14:00~
8月20日木 14:00~

大脱走



1963年/カラー/35mm/173分
監督:ジョン・スタージェス
出演:スティーブ・マックィーン、ジェームズ・ガーナー、リチャード・アッテンボロー、
チャールズ・ブロンソン、ジェームズ・コバーン

第二次大戦中、ドイツの捕虜収容所から76名が脱走したという実話の映画化。主題曲「大脱走のマーチ」は有名で、マックィーンがオートバイにまたがって疾走するシーンなど見どころ満載の娯楽大作。

8月21日金 10:30~
14:00~/ 8月22日土 10:30~
8月23日日 14:00~

007/ロシアより愛をこめて

※「007/危機一発」(日本初公開時のタイトル)



1963年/カラー/35mm/115分
監督:テレンス・ヤング
音楽:ジョン・パリー
出演:ジョン・コネリー、
ダニエラ・ビアンキ、ロバート・ショウ

英國諜報員007ことジエームズ・ボンドの活躍を描く。日本ではシリーズ2作目の本作が圧倒的人気を誇る。イスタンブルでの狙撃シーンやオリエント急行での死闘など、手に汗握るアクションの連続。

9月1日火 10:30~
14:00~/ 9月2日水 14:00~
9月3日木 14:00~

真夜中のカーボーイ



1969年/カラー/35mm/114分
監督:ジョン・シュレシンジャー
音楽:ジョン・パリー
出演:ジョン・ヴォイト、
ダスティン・ホフマン、シルヴィア・マイルズ

虚飾の大都会ニューヨークでは、まだしものふたりが必死に浮かび上がり、もうともがく姿を描いたアメリカン・ニューシネマの代表作。フローリダ行きのバスとハーモニカのメロディが切なく胸をしみつける。

9月4日火 10:30~
14:00~/ 9月5日水 14:00~
9月6日木 14:00~

天国の日々



1978年/カラー/35mm/94分
監督:テレンス・マリック
音楽:エンニオ・モリコネ
出演:リチャード・ギア、ブルック・アダムス、
サム・セバード、リンダ・マンズ

20世紀初頭のテキサス、見渡すかぎり黄金色の広大な麦畑で、農作物を収穫する季節労働者として働く若者たちの苦悩と葛藤を描く。アルフレンドロスの撮影による美しい詩的な映像が高く評価された。

9月8日火 10:00~
14:00~/ 9月9日水 14:00~
9月10日木 14:00~

ゴッドファーザー



1972年/カラー/35mm/177分
監督:フランシス・フォード・コッポラ
出演:マーラン・ブランド、アル・パチーノ、
ジェームズ・カーン、ジアリーアイア

シチリアからアメリカに渡り、一代で強固なファミリーを築いたドン・ピート・コルレオーネ。マーラン・ブランドが演じて、その併まいや名文句は語り草となつた。マフィアの抗争と悲哀に満ちた家族愛を描いた名編の第一作。

9月11日金 13:00~
9月12日土 13:00~
9月13日日 13:00~

ゴッドファーザー PART II



1974年/カラー/35mm/201分
監督:フランシス・フォード・コッポラ
出演:アル・パチーノ、ロバート・デ・ニーロ、
ロバート・デュヴァル、ダイアン・キートン

ファミリーを継承しゴッドファーザーとなったマイケルをアル・パチーノ、若き日の父ビートーをデ・ニーロが演じる。現在と過去、ふたつの物語が同時に進行で進み、ふたりの時系列が交錯する、続編が再び作品賞を受賞したのはアカデミー賞史上唯一の快挙。

画・音の良好でないものがあります。場合によって上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。